



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2007年6月22日
MR/J26/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学、円卓会議 「中央アジアの経済開発と環境問題」を開催

内容： 国際円卓会議「中央アジアの経済開発と環境問題」
日時： 2007年6月29日（金）午後1時30分～午後4時30分
場所： UNハウス、エリザベス・ローズ会議場
主催： 国際連合大学（UNU）、財団法人貿易研修センター（IIST）

背景

- 中央アジア（旧ソビエト連邦のカザフスタン、キルギスタン、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン）は、国内の政治制度改革および国際安全保障上の利害という面において、大きな地政学リスクを抱えた地域である。
- 1991年のソビエト連邦崩壊によって同地域の経済は破綻し、貧困化と経済の不安定化が劇的に進み、様々な文化や民族、宗教が混在する同地域の内外に、よりよい生活を求めて移住する人々が急増した。
- 持続不可能な形で資源の使うことで引き起こされる環境の悪化は、貧困が広まり、古来の制度の遺産を守っていく能力が限られているために一向に歯止めがかからない。それによって、気候の変化やグローバリゼーションが進む中、繊細な山岳地の生態系や周縁コミュニティの脆弱性が高まっている。
- 中央アジアでは、政治、経済、環境上の条件やプロセスが複雑に絡み合って様々な問題が生じ、地域内の各国政府や国際コミュニティに難問を突きつけている。

会議について

- 本円卓会議は、中央アジアの地政学的状況および社会経済や環境について理解を深めることを目的としている。参加者は政治および経済の不安定性、移住、環境の脆弱性、地域的・国際的な協力の方法について話し合う。
- 本円卓会議では最初に、財団法人貿易研修センター（IIST）の大慈弥隆人専務理事と国連大学のハンス・ファン・ヒンケル学長が開会の挨拶を行い、日本政府代表者が歓迎の辞を述べる。
- 基調報告として、タジキスタン政府国家保護地域理事のコクール・カシロフ博士と、キルギスタン大統領特別顧問でキルギス国際大学学長のアシルベク・アイダラリエフ教授から両国の問題提起及び経済・環境政策についての講演が行われ、論評として、青山学院大学の袴田茂樹教授が「統治と民主主義の問題」について、アースウォッチ・ジャパンの都留信也博士が「環境問題について」、国連大学学長上級顧問で中央アジア・コーカサス研究所所長の田中哲二博士が「経済問題」について講演を行う。
- 講演の後、田中博士の司会で参加者による意見交換を行う。
- 日英同時通訳あり。
- 取材をご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。

国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-5467-1311 e-mail: media@unu.edu）

MEDIA ADVISORY